



長尾小学校だより 4月号【教職員組織完成版】

令和6年（2024年）4月10日 宝塚市立長尾小学校長 高橋 剛

保護者の皆様におかれましては、日ごろより本校教育活動の推進にご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

昨日、168名の新入生を迎え入学式を実施しました。少し緊張しながらも「笑顔いっぱい」「元気いっぱい」「精いっぱい」の姿にほほえましく思いました。4月8日（月）に長尾小学校の新しいリーダーである6年生が、新入生が気持ちよく長尾小学校に入学できるよう、式場や一年生の教室の準備や校舎内の清掃をしてくれました。新入生のことを思って黙々と取り組む姿は本当に素晴らしかったと思います。

長尾小学校は全校児童1,075名、教職員77名で2024年度をスタートしました。教職員は子どもの成長のため、指導支援してまいります。保護者の皆様も今日から長尾小学校のサポーターです。教職員と一緒に子どもたちが楽しく学校生活を過ごせるよう、ご支援とご協力をお願いいたします。

教職員組織一覧

個人情報のため掲載いたしません

* 4月8日（月）に配布しました学校だよりは、入学式で一年生の担任を発表するので、1年生の担任が空欄になっていました。改めて今年度の教職員組織をお知らせします。

長尾小サポーターの一員として

1年生の保護者の皆様は、在校生の保護者の皆さんとともに、今日から長尾小学校のサポーターの一員となりました。新入生は、様々な学習・行事、新しい環境、たくさん子どもたちや先生の中での小学校生活が始まります。育ってきた環境や成長の仕方、考え方の違う子どもたちが集まる中での生活が始まるのです。お子様には、楽しい学校生活を送っていただきたいと教職員一同、全力で取り組んでまいります。しかし、思ったようにいかなかったり、けんかをしたり、我慢したりすることもあることでしょう。ただ、うまくいかないからといって、すぐに諦めたり、関係を絶ったりしては、お子さまは大きく成長できないと思います。今日の学びや経験が、子どもたちの将来の**自立（他の人の力を借りずに自分で物事ができるようになること）・自律（自分の行動を自分の立てた規律に従ってコントロールすること）**に繋がっていくのです。自分と違う友だちのことや自分のことを知り、認め合い協力し合い、学びあって、成長していくのが子どもたちです。だからこそ、子どもを保護する「保護者」であると同時に、自分の子どもの成長の糧となる、まわりの子どもたちをも、見守り育てる「サポーター」になっていただきたいのです。

みんなで作る学校、みんなで育てる長尾っ子…

どうぞよろしくお願いいたします。子どもたちは、毎日、新しい環境の中でがんばっています。まずは、お子さまの一日のがんばりを温かく受け入れ、ゆったりとお話を聞いてあげてください。

長尾スタイルの推奨について

思いやり算（人を笑顔にする算数）

たす（+）け合うことによって、大きな力が発揮されます。

ひき（-）うけることによって、仲間との喜びが生まれます。

声をかける（×）ことによって、心がひとつになれます。

いたわる（÷）ことによって、相手の心が和みます。同時に笑顔もほころびます。

この言葉は2012年頃、ACジャパンのCMで放送されていた「思いやり算」です。保護者のみなさんご記憶にある方も多いかと思います。小さな優しさは、人に笑顔を与えます。気くばりや心くばりが人と人の心の架け橋となります。子どもたちは大人の行動や姿から人を思いやる気持ちを学んでいきます。私たち大人自身が家族を含め、周りの人を思いやり敬う気持ちを持って行動すれば、子どもたちは本当の意味での思いやりの心を学べると思います。本校では、この**思いやりの心をもって様々な学校行事に参観・観覧する『長尾スタイル』**を推奨しています。学校教育は子どもたちが主役ですが、それを温かいまなざしで応援する保護者のみなさんのサポートがあってこそ、子どもたちも精一杯の力を出して輝くことができます。

ぜひ『長尾スタイル』（譲り合いの心・思いやりの心）で子どもたちを支えていただきますようお願いします。

始業式の話 キーワードは「進んで」

4月9日（月）の始業式の際、校長から2～6年生の児童に話をしました。「**進んで**」という言葉キーワードにこんな子どもになってほしいという思いを3つ話しました。

1つ目は、「**進んで自分自身を伸ばす**」ことです。1人1人の得意なものを自信をもって発揮してほしいと願っています。また、新しく何か目標を立てチャレンジしてもよいと思います。自分自身の得意なことを伸ばしたり周りに広げたり、苦手なことに挑戦したりするなど、新しい自分の可能性を見出してほしいと思います。

2つ目は、「**進んで自分の学級や学校をよくする**」ことです。自分の学級や長尾小学校を変えていくのは子どもたち自身です。子どもたちが意見を出し合い行動して自分の学級や学校を良くしていこうとする姿を望んでいます。

3つ目は、「**進んであいさつをする**」ことです。人間は一人では生きていくことはできないので、感謝の気持ちを持って生活してほしいと思います。「あいさつ」は、自分も相手も気持ちよくなり、もっと仲良くなれる魔法の言葉です。

最後に長尾小学校の新しいリーダーとなる6年生にエールを送りました。6年生は様々な行事や委員会活動、登校班、在校生への支援など、活躍する場がたくさんあります。長尾小学校を素晴らしい学校にするために、考え行動してほしいと思います。